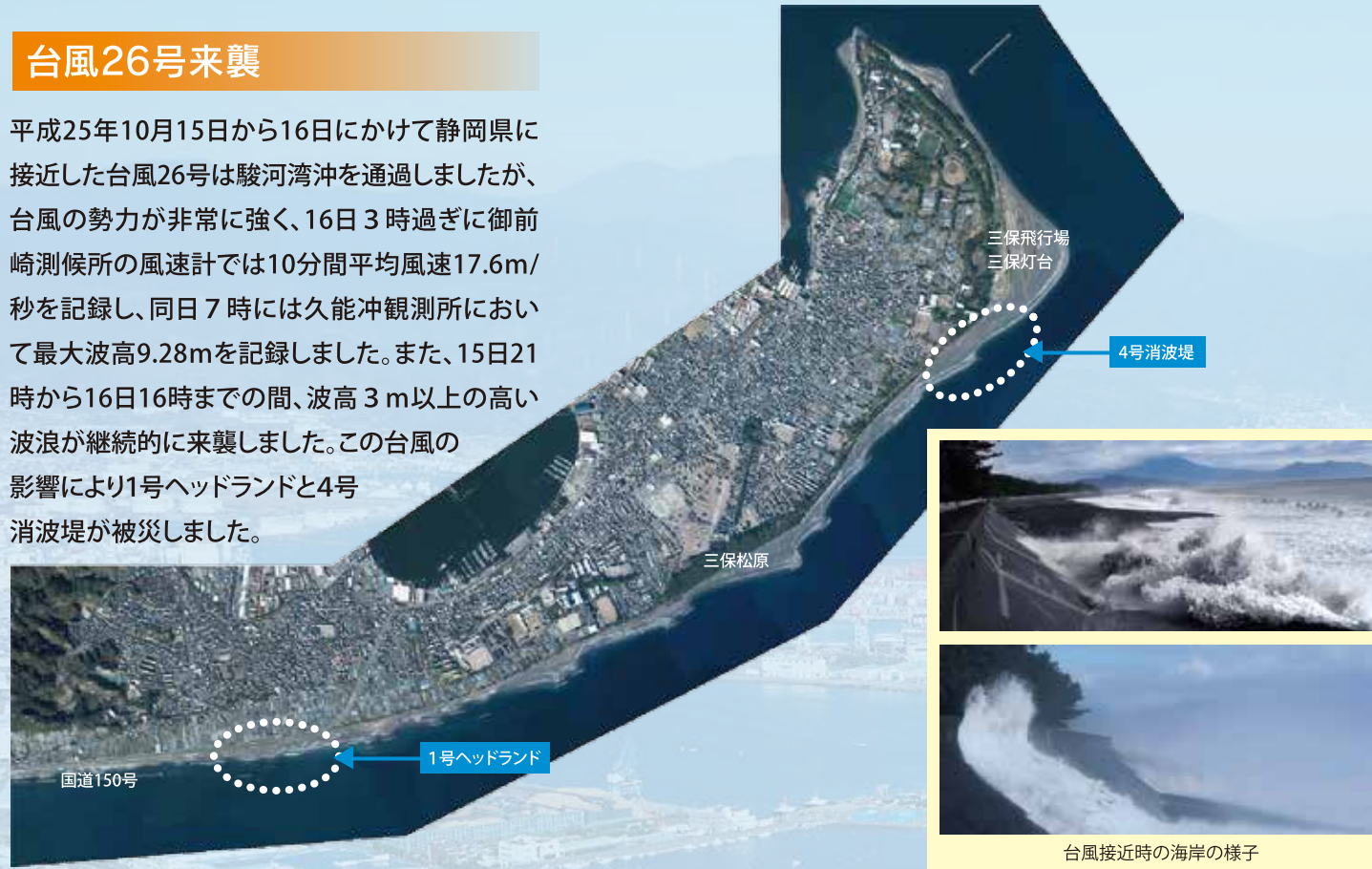


台風26号来襲

平成25年10月15日から16日にかけて静岡県に接近した台風26号は駿河湾沖を通過しましたが、台風の勢力が非常に強く、16日3時過ぎに御前崎測候所の風速計では10分間平均風速17.6m/秒を記録し、同日7時には久能沖観測所において最大波高9.28mを記録しました。また、15日21時から16日16時までの間、波高3m以上の高い波浪が継続的に来襲しました。この台風の影響により1号ヘッドランドと4号消波堤が被災しました。



台風接近時の海岸の様子

災害復旧に向けて

静岡県では、背後地(人家、公共施設等)の安全安心を確保するため、被災した施設をいち早く復旧させることとし、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づき災害復旧事業を国に対し申請しました。現在、次の台風シーズン前までに復旧させるよう工事の準備をしています。

景観に配慮して

特に4号消波堤の災害復旧工事では、世界文化遺産「富士山」の構成資産である「三保松原」に配慮し、コンクリートに顔料を混ぜ、砂浜の色に近いブロックで施工します。



被災後の4号消波堤 (H25.12撮影)

被災前の4号消波堤



波音

NAMIOTO VOL. 17
清水海岸だより

特集

- ・三保松原が世界文化遺産「富士山」の構成資産に。
- ・台風26号による波浪により海岸保全施設が被災。

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



静岡県静岡土木事務所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20
TEL 054-286-9157 FAX 054-286-9100
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>
E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

特集1 三保松原が世界文化遺産「富士山」の構成資産に

平成25年6月、国内13番目の世界文化遺産として「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」が登録されました。また、構成資産の一つとして「三保松原」が登録されましたが、登録前の4月には国際記念物遺跡会議(以下、イコモス)から、消波堤などが景観上望ましくないなどの理由から除外勧告を受けてしまいました。このため、世界遺産にふさわしい景観改善が必要であり、静岡県では今年度様々な取り組みを行いました。

地域・行政の連携



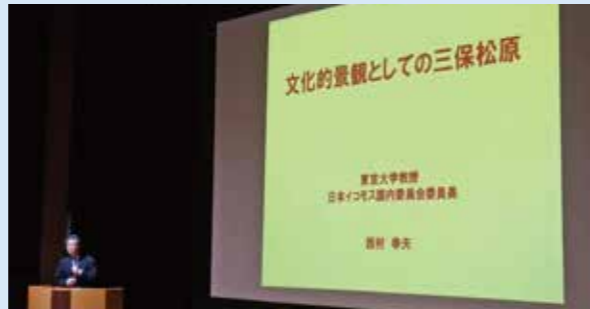
海外からも注目されることになった、この美しい海岸を地域やその他団体と連携し、一緒に考えて保全していきたいと考えています。

三保松原シンポジウム

「三保松原の景観改善を考えるシンポジウム」を平成26年2月23日(日)の「富士山の日」に、静岡市東部勤労福祉センター「清水テルサ」で開催しました。

シンポジウムでは、世界文化遺産特別委員会委員長である東京大学先端科学技術研究センター所長の西村幸夫氏、これまで清水海岸をはじめ全国各地や海外の海岸保全に取り組んでいる一般財団法人土木研究センター常務理事なぎさ総合研究室長の宇多高明氏の講演、そして文化、景観、海岸工学、観光・地域といった多方面の方をパネラーとして迎え「富士山世界文化遺産の構成資産として望ましい姿とは」「砂浜保全と景観をどう両立させるか」についてパネルディスカッションを行いました。

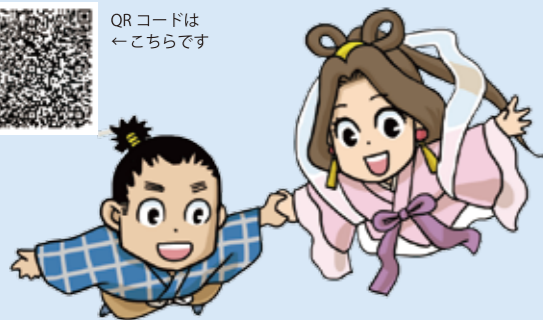
当日は、約300人も多くの人が参加され、「三保松原」の景観について、どのように砂浜保全と両立していくのか、そして後世に残すために何をすべきかを考える機会となりました。



清水海岸ポータルサイトがリニューアルしました。
<http://shimizu-kaigan.net/> ●「清水海岸」で検索してください



QRコードは
←こちらです

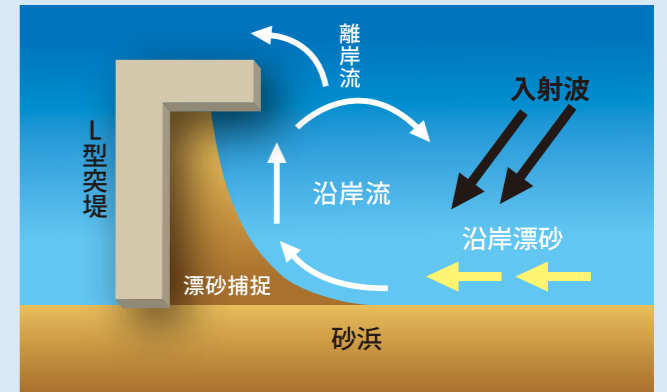


三保松原白砂青松保全技術会議

イコモスからの勧告を受け海岸防護と世界遺産としての資産価値の保全を両立する必要があることから、海岸の専門家に加え、景観、文化の専門家、国、県、市の代表者などからなる新たな組織「三保松原白砂青松保全技術会議」を設立しました。

検討内容

- 会議は、今年度2回(平成25年9月10日、平成26年1月30日)開催し、**景観上問題がある消波堤の代替工法としてL型突堤が適当である**との結論を得ました。
- L型突堤と養浜を組み合わせることにより、必要な防護上の機能を満たし、構造物及び海岸線の眺望も現在より大幅に改善させることが確認されました。
- 構造物に頼らない海岸への回復を長期的な目標としますが、砂浜が回復するまでの間、効果や影響を検証しながら短期、中期的対策として消波堤の代替施設の整備を実施します。



清水海岸侵食対策検討委員会

清水海岸の現状と課題を明らかにし、今後の侵食対策について検討する「清水海岸侵食対策委員会」を今年度も開催しました。

今年度は三保松原が世界文化遺産の構成資産に登録されたことから「三保松原白砂青松保全技術会議」の検討結果を踏まえ、侵食対策と景観の両立について学識経験者及び地元自治会そして行政代表者を委員とし、活発な意見交換、審議を行いました。



※写真は、平成25年5月26日に行われた「名勝三保松原クリーンアップ大作戦」の様子。約3,000人が集まり、「羽衣の松」周辺の松原の清掃を行いました。